

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970300129
法人名	社会福祉法人 香南会
事業所名	グループホーム あい
訪問調査日	平成 19 年 6 月 26 日
評価確定日	平成 19 年 10 月 25 日
評価機関名	社会福祉邦人高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 2007年8月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3970300129
法人名	社会福祉法人 香南会
事業所名	グループホーム あい
所在地 (電話番号)	高知県安芸市川北甲3731 (電話)0887-35-2806

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知県高知市朝倉戊375-1		
訪問調査日	平成19年6月26日	評価確定日	平成19年10月25日

【情報提供票より】(平成19年5月15日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成16年9月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	7人	常勤	6人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.7人

(2)建物概要

建物形態	○併設/単独	○新築/改築
建物構造	(RC平屋) 造り	
	4階建ての	1階 部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	実費相当 円
敷金	有(円)	○無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 800円		

(4)利用者の概要(5月15日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1		0名	要介護2		1名
要介護3		2名	要介護4		5名
要介護5		1名	要支援2		0名
年齢	平均87.0 歳	最低76 歳	最高91 歳		

(5)協力医療機関 内科・歯科

協力医療機関名	赤岡医院・森岡歯科	2
---------	-----------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域が一望できる小高い丘陵地に位置するグループホームで、敷地内には同法人が運営する養護老人ホームもあり総合福祉ゾーンとなっており何かと連携もできている。利用者・職員は地域内の人ばかりとのことで馴染みの関係が出来ており、地域と密着することができている。災害時には避難場所となっていることもあり、運営推進会議を通じて地域と交流や連携が良く取れている。これからも益々、地域との信頼関係を深く築くことにより、地域に根差した運営が期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	権利・義務について改善に取り組み、明示する事ができている。事故報告についても、ヒヤリハット報告書が取り入れられて活用ができている。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を全職員が共有し改善にむけて話し合うことができている。また外部評価結果に対する改善の取り組みはできているが、改善計画が作成されていない。作成した上で全職員による計画への取り組みを期待する。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議により、地域の清掃作業やリサイクル活動、行事や避難訓練などの情報が得られ、参加することで地域と密着することができている。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会が年4回実施されており、苦情を受けれる体制は整っている。その他、いつでも家族の相談に応じることができおり、玄関に苦情受付箱の備えもあった。
重点項目 ④	施設の発行するお便りで利用者の暮らしの様子を報告することが出来ている。また、家族の訪問があったときはコミュニケーションを図ったり、体調不良時や緊急時には随時連絡することができている。利用者の金銭管理方法については、ホームとしての取扱いを検討して家族と話し合い、支援することが望まれる。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 [事業所独自の理念が、職員間で話し合い作られている。] <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 [ホームが地域に根差していくことを目指した理念となっている。]		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 [採用時や職員会等で話し合いの機会があり、意識づけができています。] <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 [理念が反映され、家族や地域の方との交流を大切にすることを職員が共有していることが窺えた。]		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 [町内会に参加している。] <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 [地域の清掃活動や行事・防災訓練などに参加し、交流できています。]		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 [職員全員で自己評価について話し合い、取り組むことができています。] <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 [評価結果に基づき改善に取り組まれているが、改善計画が作成されていない。]	○	評価結果による改善計画の作成、それに基づく取り組みに期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 [活発な議論ができています。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 [課題について報告したうえ、改善に取り組んでいる。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔市の担当者から助言を受けたり、相談したり、交流・連携はできている。また隣接の養護老人ホームの会場を利用して研修会等も実施している。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族の来訪時に利用者の様子を報告している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔家族に、月1回ホーム便りを送り、近況を伝えている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔緊急時や体調不良時等は、必ず報告している。〕 <input type="checkbox"/> 金銭について、使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔原則、金銭管理を行っていない。〕	○	今後、金銭の自己管理が出来ない方にも少額で良いので、自分でお金を使う機会を設けることを、家族と共に検討されることを期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔年4回家族会を開催し、苦情等の意見集約を行う仕組みがある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔管理者・職員等が話し合い検討されて、質の向上をめざす姿勢が見受けられた。〕		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔職員が馴染みの関係を支えるため努力している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔離職1カ月前から引継ぎ期間とし、支障のない移行に配慮している。〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔法人内に研修体制があり、全職員の学ぶ機会が確保されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔職員会で報告している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 [県グループホーム連絡会や全国ネットワーク組織へ加入し、サービスや職員の質向上に努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 [ケアマネ連絡会や、法人内の同事業所と情報交換する機会をもち向上に努力している。]		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 [利用者が地域の出身であることから、心身の状況や生活歴等の把握ができています。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 [事業所の見学や体験の機会が行える仕組みがある。] <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 [管理者が本人の自宅に訪問し面接を行っている。]		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 [出来ることは手伝って貰うなど(洗濯物を干したり、取り込んだり、たたんだり)その人の力量に合った生活場面がある。] <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識を持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 [生活の中で出来ること、得意なこと(食器洗い・もやしの根きり等)、その人の出番を創りだしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 [料理の作り方や残飯の後始末の仕方など教わる場面がある。]		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 [日々の言動や表情などの観察で、思いや意向を把握している。] <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 [地域の方が利用者であるので家族や知人・友人等から情報を得ている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 [本人や家族の意向を反映した介護計画を作成している。] <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 [職員全員でカンファレンスが行われて、アセスメントやモニタリングができてい る。]		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 [3ヵ月毎に見直している。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 [要望や状態の変化に応じて見直している。] <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 [個別に期間設定している。]		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながらの生活が継続できるように努めている。 [併設の施設内に看護師がおり、訪問看護の体制も整えている。医療処置を受けながら生活ができる体制にある。] <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [終末ケアは現在ないが、重度化の場合は家族と相談し可能な限り支援する体制にある。] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 [通院の支援を行っている。]		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人、家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 [協力医や他の医療機関との連携により受診の支援ができています。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 []		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 [終末期の対応について、家族や医療関係機関等との話し合いが行われている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 [本人・家族の意向により、職員の資質向上を図ったり、協力医や医療連携機関等とも密に連携しながら、納得のいく終末ケアが提供できるように取り組むことができています。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 [言葉掛けや対応に配慮ができています。] <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 [職員が他者に利用者のプライバシーに関する話を話さないことについて徹底が図られている。] <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 [法人全体や職員会等で、個人情報保護法の勉強会を持ち理解に努力している。]		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 [利用者に合わせて買い物や散歩など、個別に支援がしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 [利用者の生活を優先している。]		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 [利用者の出来ること、野菜の下ごしらえや調理、配膳や片付け等、本人の気持ちを確かめながら行っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事介助のみではなく、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 [職員は利用者の介助をさりげなく行いながら、同じ物を一緒に食べている。]		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 [朝から好きな時間に入浴できるように支援体制を整えている。] <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 [入浴を拒否される方についても、状況やタイミングを見て、職員の誘導により支援している。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 [野菜の下ごしらえ、畑の野菜の植え付け、育て方や収穫、調理方法など入居者の経験や知恵が発揮されている。] <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出す働きかけを行っている。 [一人ひとりの出来ることの把握から、役割や楽しみごと等を作り出し働きかけをしている。]		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 [地域内の方が利用者であることから、散歩コースがすべて馴染みの店や場所であり地域の方との交流もできている。また家に帰ったり墓参り等、家族と協力して出かけている。] <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 [地域の行事への参加やドライブに出かけている。]		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 [利用者が地域の方ばかりなので、顔なじみであり、連絡してもらうことができる。]		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 [施設が避難場所になっていることもあり、地域住民と共に避難訓練を定期的実施している。] <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 [定期的に避難路や消火器等の設備を点検している。非常時の備蓄品は、併設の養護老人ホームで確保している。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔法人内の管理栄養士がチェックしている。〕		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔共用空間は採光良く明るい雰囲気を感じられ、利用者の馴染みの居場所が創られている。〕 <input type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔壁面の飾り付けは、どちらかと言えば施設的に感じられ、家庭的な雰囲気となっていない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔玄関や共用の場所には花が活けられ、季節を実感できる。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔使い慣れた家具や仏壇などが置かれ、個別性のある部屋となっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔孫の好みの人形や、本人の結婚写真が飾られたりと、その人のエピソードが感じられる部屋づくりとなっている。〕		